

広島県感染症発生動向月報

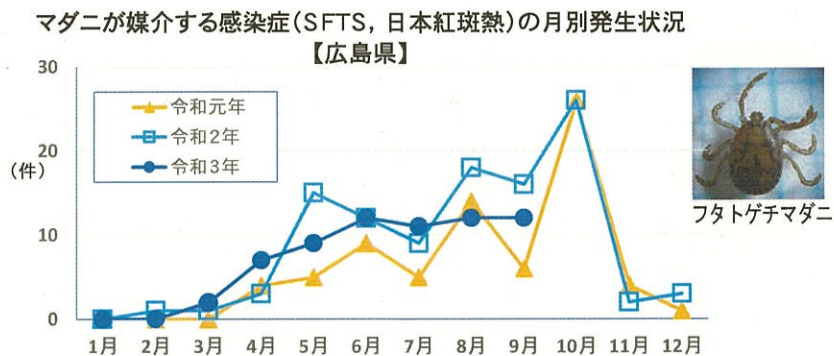
〔 広島県感染症予防研究調査会 〕
(令和3年10月解析分)

1 今月のトピックス

コロナ禍でアウトドア人気が高まる中、秋も、マダニによる感染症に注意が必要です！！

マダニは、山林や草むら、ヤブなどに生息しており、生息場所に近づいた人に寄生し吸血します。そのマダニがウイルスや細菌などを保有していた場合、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱などの感染症を引き起こします。

マダニの活動シーズンは、春～初夏のイメージが強いと思いますが、卵が孵化する秋も多く発生しています。秋の行楽シーズン到来や、コロナ禍で密が避けられるアウトドア人気が高まっており、マダニと接触する機会も増えていますので、今の時期も、マダニが媒介する感染症に十分注意しましょう。



【マダニが媒介する感染症】

| 疾病名 | 潜伏期間 | 症 状 | |
|---------------------|-------|---------------|---|
| | | 初期症状 | 特 徴 |
| 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) | 6～14日 | 倦怠感 悪寒 | 消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、こん睡）、リンパ節腫脹、呼吸器症状（咳など）、出血症状（紫斑） |
| 日本紅斑熱 | 2～8日 | 急な発熱 (38～40℃) | 発 疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒大や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分にある場合が多い |



北海道では、マダニが媒介する新たな感染症として、エゾウイルス熱が確認されています。

エゾウイルスについては不明な点が多く、調査研究が続けられているところですが、解析技術の発展により世界各地のマダニからウイルスを含む新たな微生物が次々と発見されており、マダニ中には未発見の病原体がまだ存在していると考えられています。

【予防方法】

マダニに咬まれないことが大切です。

- ☑ 野外では、腕、足、首など肌の露出を少なくする
- ☑ 足を完全に覆う靴を履く（サンダル等は避ける）
- ☑ 防虫スプレーを使用する（肌が出る部分に噴霧する）
- ☑ 野外活動後は刺されていないか確認する

詳しい情報は、広島県のホームページをご覧ください。



広島県 マダニ

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 3年 9月分(令和 3年 9月 6日~令和 3年 10月 4日:4週間分)

| No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 | No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 |
|----|---------------|-------|-------|--------|------|----|----------------|-------|-------|--------|------|
| 1 | インフルエンザ | 0 | 0.00 | 0.16 | | 10 | ヘルパンギーナ | 197 | 0.68 | 0.48 | ↘ |
| 2 | RSウイルス感染症 | 322 | 1.12 | 2.00 | ↓ | 11 | 流行性耳下腺炎 | 14 | 0.05 | 0.31 | ↑ |
| 3 | 咽頭結膜熱 | 44 | 0.15 | 0.39 | → | 12 | 急性出血性結膜炎 | 1 | 0.01 | 0.00 | |
| 4 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 39 | 0.14 | 1.14 | ↓ | 13 | 流行性角結膜炎 | 32 | 0.42 | 0.78 | → |
| 5 | 感染性胃腸炎 | 724 | 2.51 | 3.59 | ↗ | 14 | 細菌性髄膜炎 | 0 | 0.00 | 0.00 | |
| 6 | 水痘 | 11 | 0.04 | 0.20 | ↘ | 15 | 無菌性髄膜炎 | 1 | 0.01 | 0.01 | |
| 7 | 手足口病 | 75 | 0.26 | 0.92 | ↑ | 16 | マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0.00 | 0.16 | |
| 8 | 伝染性紅斑 | 5 | 0.02 | 0.12 | | 17 | クラミジア肺炎 | 0 | 0.00 | 0.00 | |
| 9 | 突発性発しん | 83 | 0.29 | 0.38 | ↘ | 18 | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0 | 0.00 | 0.00 | |

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 3年 9月分(9月 1日~9月 30日)

| No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 | No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 |
|----|---------------|-------|-------|--------|------|----|------------------|-------|-------|--------|------|
| 19 | 性器クラミジア感染症 | 70 | 3.04 | 2.64 | ↘ | 23 | メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 71 | 3.38 | 3.41 | → |
| 20 | 性器ヘルペスウイルス感染症 | 22 | 0.96 | 0.97 | ↗ | 24 | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 1 | 0.05 | 0.24 | |
| 21 | 尖圭コンジローマ | 23 | 1.00 | 0.61 | ↗ | 25 | 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 0.00 | 0.02 | |
| 22 | 淋菌感染症 | 29 | 1.26 | 1.09 | ↘ | | | | | | |

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 **手足口病** (0.10 → 0.26)
- 流行性耳下腺炎** (0.02 → 0.05)
- 急減疾患 **RSウイルス感染症** (3.66 → 1.12)

発生記号(前月と比較)

| | | | |
|-----|---|---|--------------|
| 急増減 | ↑ | ↓ | 1:2以上の増減 |
| 増減 | ↗ | ↘ | 1:1.5~2の増減 |
| 微増減 | ↗ | ↘ | 1:1.1~1.5の増減 |
| 横ばい | → | | ほとんど増減なし |

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

| | 内科定点 | 小児科定点 | 眼科定点 | STD定点 | 基幹定点 | 合計 |
|---------|------|-------|--------|-------|--------------|-----|
| 対象疾病No. | 1 | 1~11 | 12, 13 | 19~22 | 14~18, 23~25 | |
| 定点数 | 43 | 72 | 19 | 23 | 21 | 178 |

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

| 類別 | 報告数 | 疾患名(管轄保健所) |
|---------------|-------|--|
| 一類 | 0 | 発生なし |
| 二類 | 27 | 結核(27)〔東部保健所(10), 広島市保健所(6), 呉市保健所(4), 福山市保健所(5), 北部保健所(2)〕 |
| 三類 | 10 | 腸管出血性大腸菌感染症(10)〔呉市保健所(1), 福山市保健所(9)〕 |
| 四類 | 22 | E型肝炎(1)〔西部保健所(1)〕 つつが虫病(1)〔西部保健所(1)〕 日本紅斑熱(12)〔呉市保健所(2), 東部保健所(10)〕 レジオネラ症(8)〔広島市保健所(4), 東部保健所(1), 福山市保健所(3)〕 |
| 五類 | 39 | アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕 ウイルス性肝炎(2)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌感染症(3)〔広島市保健所(1), 東部保健所(1), 福山市保健所(1)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔呉市保健所(1)〕 劇症型溶血レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕 百日咳(1)〔西部東保健所(1)〕 |
| 新型インフルエンザ等感染症 | 2,697 | 梅毒(27)〔呉市保健所(1), 広島市保健所(15), 東部保健所(2), 福山市保健所(8), 北部保健所(1)〕 新型コロナウイルス感染症(2,697)〔広島市保健所(1,548), 呉市保健所(177), 福山市保健所(378), 西部保健所(253), 西部東保健所(169), 東部保健所(155), 北部保健所(17)〕 |